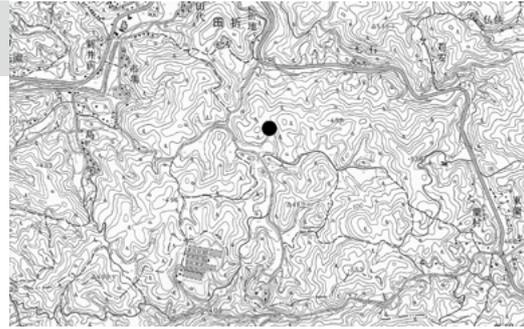


範囲確認調査 蔵平遺跡

所在地 豊田市下山田代町字蔵平
(北緯35度1分37秒 東経137度19分13秒)
調査理由 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業
調査期間 平成24年5月23日～平成24年5月30日
調査面積 50 m²
担当者 宮腰健司・蔭山誠一



調査地点 (1/2.5万「東大沼」)

調査の経過 調査は、愛知県企業庁による豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業に伴う範囲確認調査として、愛知県教育委員会の委託を受けて平成24年5月23日～5月30日の6日間実施した。調査対象地の現況は旧水田耕作地などの平場と緩斜面に植林された山林となっており、周囲の地形と樹木・岩などの障害物の外れる地点を考慮して、試掘トレンチ(以下「TT番号」で表す)を25カ所設定して調査を行った。

立地と環境 蔵平遺跡は豊田市下山田代町地内にて郡界川に合流する沖川の東岸丘陵部に位置しており、平成22年度に範囲確認調査が実施された和倉遺跡の南に隣接する地点である。調査地点の標高は439～462mである。

調査の概要 調査の結果、調査対象地の丘陵東側斜面にあるTT13・TT14を中心にTT12～TT19・TT22・TT23にて遺構と平安時代の遺物を多く確認できた。その他には和倉遺跡の南にあたるTT3において、炭焼窯跡と思われる堆積とその下部に遺構の可能性のある土坑が確認でき、調査対象地の西側斜面にあるTT8・TT24においても遺構は確認できなかったが、奈良時代から平安時代にかけての遺物が確認できた。以上の調査成果から、調査対象地の東側斜面のTT13・TT14を中心とする地点において遺跡の中心があり、調査対象地の西側斜面には別の遺跡の存在が推定される。調査対象地の北側にあるTT3は和倉遺跡の南端部にあたる可能性がある。(蔭山誠一)



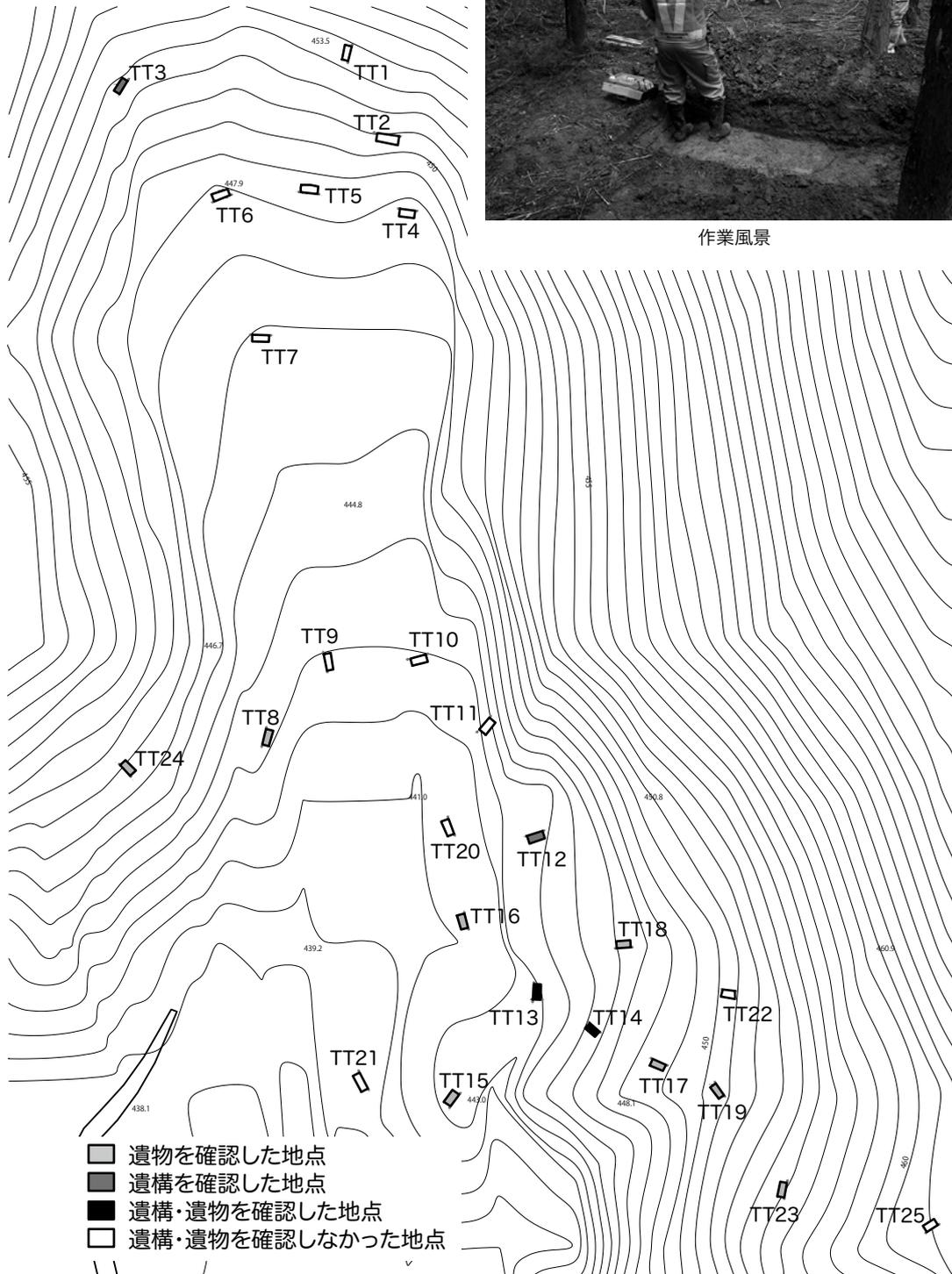
TT12(南より)



TT14(南西より)



作業風景



範囲確認調査トレンチ配置と成果概要